

質問及び回答

令和7年3月19日

番号	該当ページ等	質問事項	回答
1	-	当事業の継続年数 当事業の今回のプロポーザルで年々目の事業を開示頂けませんでしょうか。 また、類似の事業から名称変更で継続されている場合は名称変更前の事業状況も合わせ開示頂けませんでしょうか。	本事業は令和7年度で3年目となります。 令和2年度～4年度に実施した「ふくしまチャレンジライフ推進事業（県中地域）」を発展させ、将来的な移住をより意識した企業等での短期就業体験や、県外在住の若年層に向けた周知の強化などを組み込んだ事業です。
2	-	令和6年度の事業実績 令和6年度のプログラム参加者は合計で何名か開示頂けませんでしょうか。	令和6年度本事業のプログラム参加者は合計で44名です。
3	-	当事業の過去実績で円滑な点と課題点 令和6年度を中心として、事業での円滑な点（好点）と過年度事業を通じて令和7年度で強化したい点を開示頂けませんでしょうか。	好点は参加者への事前のヒアリングを重視し、希望に沿ったプログラム作成や、地域ディレクターとの連携を密に行うことで、参加者の満足度が高い点です。令和7年度はプログラムのコース分けを行うことで、参加者の移住意向度に沿った体験内容を提供し、より具体的に移住を検討してもらう事業に強化したいと考えております。
4	仕様書 P1	仕様書 4 委託業務の内容 （1）県外在住の若年層や移住希望者等に対するお試し就業体験、短期移住体験の企画・運営 →移住希望者については、ターゲットとする年齢はありますか？もし若年層とする場合、募集時に年齢についての記載をした上で募集しますか？	本事業のメインターゲットは県外在住の大学生を中心とした20～30代の若年層を想定しており、参加者募集の際はそれを踏まえた広報戦略を実施していただきますが、年齢についての記載は必要ありません。

5	仕様書 P4	仕様書「カ プログラム参加を希望する者の問い合わせ窓口を設定すること。」とありますが、問い合わせ窓口は普段業務で私用しているものとは別途に、専用の電話番号やメールアドレスを用意する必要がありますか？	専用の電話番号を用意する必要はありませんが、参加希望者が問い合わせた際に速やかに対応できるよう体制を整えてください。専用メールアドレスは必須ではありませんが、専用ホームページのアドレスに合わせたものを用意することが望ましいと考えております。
---	-----------	---	--